

エコアクション21

平成29年度環境活動レポート

対象期間 : 平成29年06月～平成30年05月

発行日 : 平成30年07月06日



目次

1. 組織の概要	3
2. 対象範囲、対象期間及び発行日	5
3. 環境方針	6
4. 環境目標	7
5. 環境活動計画	8
CO ₂ ガス排出量削減（重油・軽油・電気使用量について）	
廃棄物削減	
水道水使用量削減	
化学物質の管理	
グリーン購入推進	
環境への配慮	
6. 環境目標の実績	9
7. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容	10
取組結果（過去2年間の実績含む）	
評価	
8. 環境関連法規制等の遵守状況	11
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	12

1. 事業活動の概要

1) 事業者名及び代表社名

事業者名 株式会社 リバースケミカル
代表社名 代表取締役 中田 敬子

2) 所在地

本社・工場 兵庫県神戸市北区道場町塩田山崎2636番地
物流倉庫 兵庫県三田市東本庄字大歳谷2224番5

3) 環境管理の責任者及び担当者

責任者 代表取締役 中田 敬子
担当者 環境管理責任者 小西 岳史
連絡先 TEL : 078-985-2061 FAX : 078-985-3081

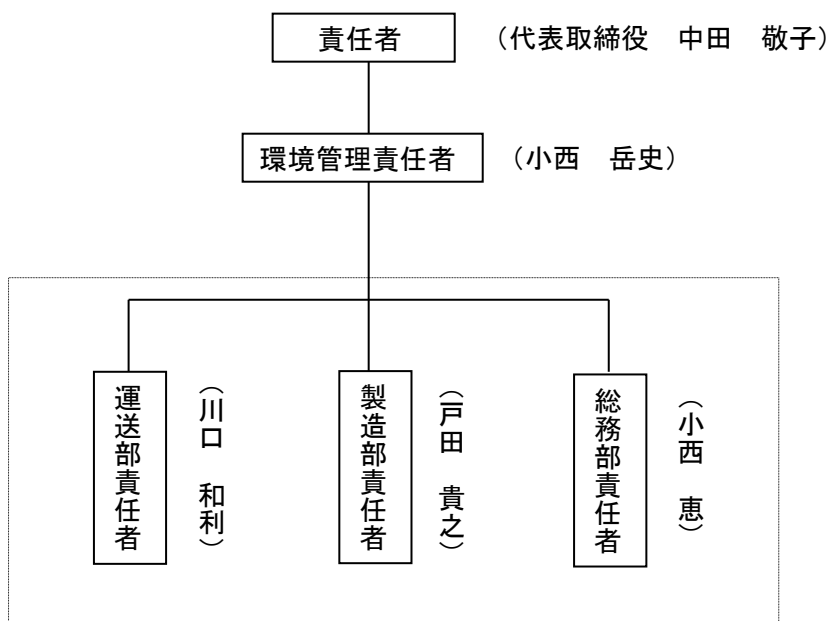
4) 事業の内容

廃油の再生加工及び販売、特別管理産業廃棄物収集運搬

5) 事業の規模

創立 昭和42年6月26日
売上高 38,836万円
資本金 1,000万円
従業員 20名
敷地面積 3,395㎡(本社工場)、2,378㎡(物流倉庫)

6) EA21実施体制組織図



7) 許可の内容

① 処分業

特別管理産業廃棄物処分業	
許可番号	神戸市 第6790003215号
許可年月日	平成30年5月31日
有効期限	平成35年5月30日
廃棄物の種類	廃油
事業の範囲	中間処理（蒸留再生）
処理施設の種類	ボイラー加熱による水蒸気蒸留及び単蒸留装置
処理能力	20t/日
処理料金	200Lドラム：4,000円～12,000円（廃液の性状による）

処理工程図

```

    graph LR
      A[排出先] -- 収集 --> B[リバーケミカル]
      B --> C[蒸留釜に投入]
      C --> D[蒸留]
      D --> E[冷却]
      E --> F[脱水・脱色]
      F --> G[製品検査]
      G --> H[出荷]
  
```

※沈殿残渣、蒸留残渣は廃棄物として処理委託
平成29年処理実績（1516t）

② 収集運搬業

・施設の概要：普通貨物自動車6台（8t×4台（タンク車1台含む）、4t×1台、2t×1台）

(I) ①特別管理産業廃棄物収集運搬業（平成29年度、主な収集運搬実績）

行政区分	許可番号	許可年月日	許可の有効期限	運搬実績
兵庫県	02863003215	平成30年07月01日	平成35年06月30日	668t
滋賀県	02551003215	平成30年07月22日	平成35年06月29日	175t
大阪府	02750003215	平成30年06月12日	平成35年05月19日	373t
愛媛県	3855003215	平成26年08月13日	平成31年08月12日	246t
京都府	02650003215	平成30年07月03日	平成35年06月24日	85t
山口県	03550003215	平成25年10月23日	平成30年10月22日	14t
香川県	03759003215	平成29年11月08日	平成34年10月28日	86t
徳島県	3650003215	平成30年02月14日	平成35年02月13日	61t
奈良県	02950003215	平成29年04月18日	平成34年04月17日	26t

合計1734t

②特別管理産業廃棄物積替え・保管

積替え・保管場所：兵庫県三田市東本庄字大歳谷 2 2 2 4 番 5

積替え・保管を行う産業廃棄物の種類：廃油

積替え・保管面積：7. 60m²

積替え・保管上限：6. 80m³

(Ⅱ) 産業廃棄物収集運搬業（平成29年度、主な収集運搬実績）

行政区分	許可番号	許可年月日 許可の有効期限	許可の種類											運搬実績			
			汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	繊維くず	ゴムくず	ガラスくず		がれき類		
兵庫県	02808003215	平成 26 年 06 月 22 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	356 t
		平成 31 年 06 月 21 日															
京都府	02600003215	平成 30 年 07 月 03 日		○				○									4 t
		平成 35 年 06 月 24 日															
大阪府	02700003215	平成 29 年 03 月 14 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	66 t
		平成 34 年 03 月 13 日															
滋賀県	02501003215	平成 30 年 08 月 07 日		○				○		○							21 t
		平成 35 年 08 月 06 日															
奈良県	02900003125	平成 29 年 04 月 18 日	○	○													0 t
		平成 34 年 04 月 17 日															

合計 4 4 7 t

2. 対象範囲、対象期間及び発行日

1) 対象範囲

エコアクション21対象範囲は全社とする。

2) 対象期間及び発行日

対象期間：平成29年06月～平成30年05月

発行日：平成30年07月06日

改訂日：平成30年08月09日 許可の有効期限を改訂

平成30年09月20日 運搬実績数量を訂正

平成30年10月26日 特別管理産業廃棄物積替え・保管について追加

3. 環境方針

【基本理念】

私たちは地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、環境負荷の少ない企業活動を行います。

【基本方針】

㈱リバースケミカルは特別管理産業廃棄物（廃油）を再生加工し再利用化を促進することで、資源の有効利用、廃棄物の抑制、環境保全に配慮した環境管理を行います。

1. 当社の活動、製品、サービスに関わる環境側面を常に認識し、環境汚染の予防に努めます。
2. 方針遂行のため法規の要求事項、著しい環境側面、利害関係者の意見に基づき、環境目的・目標を設定し、その実現を図り定期的な見直しを行うことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
3. 定常時はもちろん事故等の緊急時においても環境関連法規、規制、協定等、受け入れたその他の要求事項を遵守し、技術的に可能な範囲で環境保全に取り組みます。
4. 環境マネジメントシステムの遂行において、環境負荷の抑制にあたり以下の項目に重点的に取り組みます。
 - ① CO₂ガス排出量の削減（重油使用量の削減、省エネ等）
 - ② 受託した産業廃棄物の適正処理及び活動に伴う廃棄物の削減（汚泥等）
 - ③ 上水使用量（排水量）の削減
 - ④ 化学物質の適正管理
 - ⑤ グリーン購入の推進
 - ⑥ 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境への配慮（運搬車両の燃費向上）
5. 環境教育訓練等を実施し、環境方針の理解と意識の向上を図ると共に取引先にも理解と協力を要請します。

2013年01月15日
神戸市北区道場町塩田山崎2636番地
株式会社 リバースケミカル
代表取締役社長 中田 敬子

4. 環境目標

1) 環境目標の設定対象

CO₂ガス排出量や廃棄物は生産が増加すると増えるため生産量に対する比による設定を行った。

計算式は下記の通り。※生産量＝廃油から蒸留再生した油の量

①CO₂ガス排出量

生産に関わるCO₂ガス排出量としてボイラー運転に使用される重油、運送に関わる軽油、電力について取組む。

CO₂ガス排出量／生産量

②廃棄物の削減

廃油の蒸留再生時の残渣処理で発生する汚泥やその他の廃棄物削減について取組む。

廃棄物発生量／生産量

③上水使用量

ボイラー運転時に使用される水道水使用量やその他の洗浄水等の削減について取組む

水道水使用量／生産量

2) 環境目標

平成20年度（平成20年6月～平成21年5月）の数値を基準として、下表の通りの目標値とした。

項目	平成20年度実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
CO ₂ ガス排出量	CO ₂ 量／生産量	平成20年度比 4.25%減	平成20年度比 4.50%減	平成20年度比 4.75%減
	242	231.7	231.1	230.5
廃棄物排出量	廃棄物／生産量	平成20年度比 6%減	平成20年度比 6.5%減	平成20年度比 7%減
	0.973	0.915	0.910	0.905
水道水使用量	水使用量／生産量	平成20年度比 7%減	平成20年度比 8%減	平成20年度比 9%減
	1.52	1.41	1.40	1.38
化学物質の管理	PRTR対象物質の 在庫量の適正管理	PRTR対象物質の 在庫量の適正管理	PRTR対象物質の 在庫量の適正管理	PRTR対象物質の 在庫量の適正管理
グリーン購入の推進		1品目増やす	1品目増やす	グリーン購入の推進
環境への配慮		運搬車両の環境負 荷低減への努力	運搬車両の環境負 荷低減への努力	運搬車両の環境負 荷低減への努力

5. 環境活動計画

項目	対象	部署	取組内容
CO ₂ ガス排出量削減	重油	製造	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気の無駄遣いを無くす 蒸気漏れの点検、修理を速やかに行う ・生産性を向上して重油使用量を抑える ボイラーや配管等設備の点検を行い、設備トラブルを未然に防止する
	軽油	運送	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの実施 ・急発進、急加速を自粛し適正シフトアップに努める
	電気	製造 総務	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な照明の消灯（使用しない部屋、休憩時の消灯） ・不使用時のパソコン、プリンター、ポットの電源 OFF
廃棄物削減	汚泥	製造	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥として固めにくく嵩の高くなる蒸留残渣の発生する原料を特定し、原料としての使用を抑える ・脱水工程時に発生する製品カット分の製品化による生産量のUPを図り、相対的な汚泥発生量の削減を行う
	その他	全社	ドラム単位のものとは極力圧縮する
水道水使用量削減	上水	全社	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気漏れは直ちに修理を行い、無駄な蒸気を無くす ・稼動していない時はドレンバルブを閉める ・蛇口の閉め忘れをなくす ・冬期は凍結対策を施す ・車両洗浄時の洗浄水の節制を心がける
化学物質の管理	化学物質	全社	在庫量の管理を行う
グリーン購入推進	—	全社	事務用品等再生品使用製品の購入
環境への配慮	—	運送	<p>産業廃棄物収集運搬車両の環境負荷低減への努力を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの実施 ・急発進、急加速を自粛し適正シフトアップに努める

6. 環境目標の実績

項目	内容	単位	平成20年度実績	平成29年度		
				目標	実績	達成率
	生産量※	t	2767	—	2653	—
二酸化炭素	重油	Kg-CO ₂	475960	—	450378	—
	軽油	Kg-CO ₂	163607	—	191759	—
	電力	Kg-CO ₂	29764	—	41205	—
	CO ₂ ガス排出量	Kg-CO ₂	669331	—	683343	—
	CO ₂ 量/生産量	Kg-CO ₂ /t	242	230.5	257.6	89.5%
産業廃棄物	廃棄物	t	2692	—	2695.2	—
	廃棄物/生産量	t / t	0.973	0.905	1.016	89.1%
水道水	水使用量	m ³	4203	—	2910	—
	水使用量/生産量	m ³ / t	1.52	1.38	1.10	125.5%
化学物質の管理	PRTR対象物質の在庫量の適正管理	—	—	PRTR対象物質の在庫量の適正管理	○	○
グリーン購入	—	—	—	購入品目に事務用ファイルを追加	○	○
環境への配慮	—	—	—	運搬車両の環境負荷低減への努力	○	○

購入電力調整後排出係数

関西電力(株) 0.000493 (t-CO₂/kWh) = 0.493 (kg-CO₂/kWh)

※生産量=廃油から蒸留再生した油の量

7. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

1) 取組み結果

項目	内容	単位	平成 20 年度 実績	目標	平成 21 年度 試験期間 4～6月	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	生産量※	t	2767		897	2956	2908	2653
二酸化炭素	重油	Kg-CO ₂	475960		142153	468316	472304	450378
	軽油	Kg-CO ₂	163607		58415	191711	199811	191759
	電力	Kg-CO ₂	29764		9841	29036	39506	41205
	CO ₂ ガス 排出量	Kg-CO ₂	669331		210409	689063	711622	683343
	CO ₂ 量/ 生産量	Kg-CO ₂ /t	242	231.1	235	233.1	244.7	257.6
	評価					○	×	×
産業廃棄物	廃棄物	t	2692		788	2845.1	2834.4	2695.2
	廃棄物/ 生産量	t / t	0.973	0.910	0.879	0.962	0.974	1.016
	評価					○	×	×
水道水	水道水 使用量	m ³	4203		1261	3049	3071	2910
	水使用量/ 生産量	m ³ / t	1.52	1.40	1.41	1.03	1.05	1.10
	評価					○	○	○

※生産量＝廃油から蒸留再生した油の量

2) 評価

①二酸化炭素排出量の削減

目標達成率は89.5%となり、未達であった。各工程での削減努力を続けているものの目標数値には届かなかった。

低回収率及び高沸点の加工依頼が増加した結果、生産量の減少量に比べ重油使用量及び軽油使用量は減少しておらず、その影響が表れたものと思われる。(減少率は前年比で生産量9%、重油5%、軽油4%の割合)

また、電力使用量に関しては増加していることも要因にあげられる。

取組内容に関する逸脱等は無く、引続き削減努力を行っていく。

②産業廃棄物の削減

目標達成率は89.1%となり、未達であった。

実施計画に従い取り組んできたが、前述(①)の低回収率及び高沸点の加工依頼が増加したことから、産業廃棄物の発生量は昨年度より減少したものの生産量自体が減少率を下回った為、結果として産業廃棄物の削減率としては目標を達成出来なかった。次年度も更なる削減方法を探りつつ取り組んでいく。

③水道水使用量の削減

目標達成率は125.5%となっており、取組期間中、問題点も特に無かった。
よって、計画通りの取組を続けていく。

④化学物質の管理

P R T R対象物質について在庫量の把握を常に行い、逸脱は無かった。

⑤グリーン購入

グリーン購入品目に事務用ファイルを追加。

⑥産業廃棄物収集運搬における環境への配慮

収集運搬車両が与える環境への負荷低減として、各車両の燃費向上に努めた。

3) 次年度の取組内容

上記2)項の通り、外的要因以外で目標数値未達成にはなっていない為、取組み内容の変更は行わず今年度と同様に削減への努力を行っていく。

8. 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

期間内を含め過去10年間、環境関連法規制への違反、並びに関係機関からの指摘、利害関係者からの苦情・訴訟はありませんでした。

なお、当社の事業活動に関連する主たる環境関連法規は下記の通りです。

	主たる環境関連法規の名称
1	廃棄物処理および清掃に関する法律
2	騒音規制法
3	水質汚濁防止法
4	毒物および劇物取締法
5	消防法
6	神戸市との公害防止協定 (水質汚濁防止対策、騒音・振動防止対策、悪臭防止対策、産廃の受け入れ)

9. 代表者による評価と見直し

1) 評価

普段の取組みや報告を見るに環境活動についての取組みは的確に出来ているものと考えている。一昨年度からの低回収率原料に加え高沸点の加工依頼が増加した事で、今年度は更に温室効果ガスの削減及び廃棄物発生量に対して厳しい状況が続いている。

全員でより一層協力して環境活動に取り組んで行って欲しい。

2) 見直し

環境方針はこのまま変更せず、継続していく。

次年度の目標についてしっかり取り組む事。

3) 指示事項

法律に関しては、昨年までと同様に関連法規も地域協定も逸脱することなく順守できているので、これをしっかり守っていく事。

設備の経年による能力低下等多様な理由により、生産効率が下がる事へのフォローは昨年までと同様に適宜行われていた。先のフォローで得られた経験を活かし、引続き各々が生産効率の向上を目指し、環境負荷低減に努めて欲しい。